

### 【今日の説教から】

新年のご挨拶を申し上げます。元日に能登の地に大きな被害をもたらした大地震が起こり、翌日には羽田空港で大型旅客機が燃え上がる大事故が起こりました。一体今年はどういう年になるのだろうかと不安に思われた方も多くおられたのではないのでしょうか。

「一寸先は闇」という言葉のある通り、私たちには一瞬の先に起こる出来事を知ることが出来ません。突如として襲い掛かる災厄。青天の霹靂とは言いますが、気付けば家が濁流に飲み込まれ、火炎が渦巻く火の中水の中に投げられるように、突如として人生の歩みが言いしれない困難の渦中に投げ込まれ、不安と悲しみの中に沈み込み、焼きつき燃やし尽くすような心の痛みに貫かれる時があります。

そんな時、私たちは今日の御言葉を思い起こします。

「あなたを創造された主はこう言われる…恐れるな、わたしはあなたをあがなった。わたしはあなたの名を呼んだ、あなたはわたしのものだ」

あなた、あなた、あなたと、私たちを呼び続けていて下さるお方がいらっしゃいます。そのお方は天地万物の造り主であり、私たち一人一人をお造りになられた方です。そのお方が、世界のすべてを昔も、今も、これからも統べ治めておられるお方が私たちを「わが子」と呼んで身代わりの御子を捧げて守り抜いて愛し抜いて救い出して下さるのです。その方が「恐れるな」と語られるのです。私たちは贖われ、自由の身とされているのです。

皆様、新年あけましておめでとうございます。

暖冬による穏やかな年末年始でした。

いつものように、年末年始、家族が帰省して、大晦日、暖かい団欒と共に食事をして紅白歌合戦を見て、テレビから「行く年くる年」の番組を見て除夜の鐘を聞き、明けましておめでとうございますと家族で語り合い、元日の朝、美しい朝日を仰ぎ見て今年がいい年になりますようにとの祈りがどれだけ捧げられたのでしょうか。その喜ばしき期待に胸を膨らませ、お年玉をもらってにっこりしていた子供たちを見て大人が目を細める家族の団欒が、その日の夕方には引き裂かれることになろうとは、誰が想像出来たのでしょうか。この自分が搭乗した飛行機に、羽田空港に着陸する時に大事故が起こってこの飛行機が火に包まれて、自分が何も荷物を持たずに滑り降りることになろうとは、誰が想像できたのでしょうか。数時間前にあの籠の中に入れられたペットと二度と会えないようになろうとは、誰が想像できたのでしょうか。あの元日の夜のいつも通りのテレビ番組が全て災害の報道番組に切り替えられるようになろうとは、誰が想像できたのでしょうか。

2024年、私たちは心が刺し貫かれる出来事と共に年の初めの時を過ごしております。

120人を超える方々が亡くなられ、今なお200人以上の方が行方不明になっておられ

ます。

この先の未来において、いつどうなる事かというようなことは、ほんの1分先、1秒先に何が起こるかもわからない。それが私たち人間です。こんなことが年の初めから起こって、今年はどんな年になって行くのでしょうか。

家が崩れ、水の中に飲み込まれ、火が燃えついて焼き尽くす。一瞬のこととしてそのようなことが起こるといことは、私たちにとってこの上もない恐怖です。

私たちは、そのような、先行きの見えない恐怖、水かさが増して息も出来なくなるようなひたひたと水位を増して私たちを追い詰める恐怖と、火が燃え広がるように私たちを追い詰めて胸を痛ませ悩みの火が燃え上がる苦しみの中、どのように生きて行けばいいのでしょうか。

年の初め、私たちは苦しみの中、しかし心静かに御言葉に向き合いたいと願います。

1 ヤコブよ、あなたを創造された主はこう言われる。イスラエルよ、あなたを造られた主はいまこう言われる、「恐れるな、わたしはあなたをあがなった。わたしはあなたの名を呼んだ、あなたはわたしのものだ。

ヤコブよ、イスラエルよと、主はご自身の民に向かって呼びかけをなさいます。

今日、この主の呼びかけは、イスラエルの民族だけでなく、全ての国民に語りかけられています。

使徒 1:8 ただ、聖霊があなたがたにくだる時、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう。

ローマ 1:16 わたしは福音を恥としない。それは、ユダヤ人をはじめ、ギリシヤ人にも、すべて信じる者に、救を得させる神の力である。

使徒 10:10 彼は空腹をおぼえて、何か食べたいと思った。そして、人々が食事の用意をしている間に、夢心地になった。

10:11 すると、天が開け、大きな布のような入れ物が、四すみをつるされて、地上に降りて来るのを見た。

10:12 その中には、地上の四つ足や這うもの、また空の鳥など、各種の生きものがはいていた。

10:13 そして声が彼に聞えてきた、「ペテロよ。立って、それらをほふって食べなさい」。

10:14 ペテロは言った、「主よ、それはできません。わたしは今までに、清くないもの、汚れたものは、何一つ食べたことはありません」。

10:15 すると、声が二度目にかかってきた、「神がきよめたものを、清くないなどと言ってはならない」。

この世界をあまねく創造され、今日もその造られた世界を統御しておられるお方が私たちに語りかけられます。

「恐れるな、わたしはあなたをあがなった。わたしはあなたの名を呼んだ、あなたはわたしのものだ。」

あなたを、あなたを…との神様からの語り掛けです。神様はどんなに私たちが愛され、愛する尊い御子の犠牲をもって私たちを贖い、守り、救い、愛し抜いて下さることでしょうか。

「恐れるな、わたしはあなたをあがなった。わたしはあなたの名を呼んだ、あなたはわたしのものだ。」

わたしはあなたの名を呼んだ。親が子を呼んで愛おしみ語りかけ育てるように、神様もまた私たちが気にかけて下さり、名を呼んで語りかけて下さいます。あなたは私のもの。私と関係のない赤の他人ではない。あなたわがもの、我が家のもの。わが愛する子だと神様はお語り下さるのです。

2 あなたが水の中を過ぎるとき、わたしはあなたと共にいる。川の中を過ぎるとき、水はあなたの上にあふれることがない。あなたが火の中を行くとき、焼かれることもなく、炎もあなたに燃えつくことがない。

神様はその民をエジプトから助け出すとき、水の中から彼らを助け出されました。そして神様はダニエルと共にあったシャデラク、メシャク、アベデネゴを火の中から助け出して下さいました。

ダニエル 3:14 ネブカデネザルは彼らに言った、「シャデラク、メシャク、アベデネゴよ、あなたがたがわが神々に仕えず、またわたしの立てた金の像を拝まないとは、ほんとうなのか。

3:15 あなたがたがもし、角笛、横笛、琴、三角琴、立琴、風笛などの、もろもろの楽器の音を聞くときにひれ伏して、わたしが立てた像を、ただちに拝むならば、それでよろしい。しかし、拝むことをしないならば、ただちに火の燃える炉の中に投げ込まれる。いったい、どの神が、わたしの手からあなたがたを救うことができようか」。

3:16 シャデラク、メシャクおよびアベデネゴは王に答えて言った、「ネブカデネザルよ、この事について、お答えする必要はありません。

3:17 もしそんなことになれば、わたしたちの仕えている神は、その火の燃える炉から、わたしたちを救い出すことができます。また王よ、あなたの手から、わたしたちを救い出されます。

3:18 たといそうでなくても、王よ、ご承知ください。わたしたちはあなたの神々に仕えず、またあなたの立てた金の像を拝みません」。

3:19 そこでネブカデネザルは怒りに満ち、シャデラク、メシャクおよびアベデネゴにむかって、顔色を変え、炉を平常よりも七倍熱くせよと命じた。

3:20 またその軍勢の中の力の強い人々を呼んで、シャデラク、メシャクおよびアベデネゴを縛って、彼らを火の燃える炉の中に投げ込めと命じた。

3:21 そこでこの人々は、外套、下着、帽子、その他の衣服のまま縛られて、火の燃える炉の中に投げ込まれた。

3:22 王の命令はきびしく、かつ炉は、はなはだしく熱していたので、シャデラク、メシャクおよびアベデネゴを引きつれていった人々は、その火炎に焼き殺された。

3:23 シャデラク、メシャク、アベデネゴの三人は縛られたままで、火の燃える炉の中に落ち込んだ。

3:24 その時、ネブカデネザル王は驚いて急ぎ立ちあがり、大臣たちに言った、「われわれはあの三人を縛って、火の中に投げ入れたではないか」。彼らは王に答えて言った、「王よ、そのとおりです」。

3:25 王は答えて言った、「しかし、わたしの見るのに四人の者がなわめなしに、火の中を歩いているが、なんの害をも受けていない。その第四の者の様子は神の子のようだ」。

3:26 そこでネブカデネザルは、その火の燃える炉の入口に近寄って、「いと高き神のしもべシャデラク、メシャク、アベデネゴよ、出てきなさい」と言ったので、シャデラク、メシャク、アベデネゴはその火の中から出てきた。

神様は火の中、水の中から私たちを助け出してくださいます。

3 わたしはあなたの神、主である、イスラエルの聖者、あなたの救主である。わたしはエジプトを与えて／あなたのあがないしろとし、エチオピヤとセバとをあなたの代りとする。

「わたしはあなたの神、主である、イスラエルの聖者、あなたの救主である。」  
バビロンの捕囚の憂き目にあつたとしても、どんなに弱小な日陰の国だとののしられたとしても、私たちの神、主は世界の造り主。世界の支配者であり、王の王、主の主。どんなに大きな大国であろうと、遠くの国々であろうと、このお方の支配に屈しない国は一つもありません。そしてあなたの代わり、あなたの贖い代として立て、あなたを救われると聖書は語ります。

4 あなたはわが目に尊く、重んぜられるもの、わたしはあなたを愛するがゆえに、あなたの代りに人を与え、あなたの命の代りに民を与える。

あなたはわが目に尊く、重んぜられている。わたしはあなたを愛していると神様は私たちに語りかけられます。そして身代わりである御子キリストイエスを与えて下さるのです。

5 恐れるな、わたしはあなたと共にいる。わたしは、あなたの子孫を東からこさせ、西からあなたを集める。

どんなに遠くの地への捕囚の憂き目にあっても、どんなに大きな困難であろうとも、島流し、流刑、捕囚、監禁、刺し貫くような困難と悩みの中にあろうとも、恐れるな、私はあなたと共にいると神様は語られます。東からも西からも、北からも南からも、遠く散らされた地からあなたを祝福のただ中に呼び戻すと神様は語りかけて下さいます。

神様はどれだけ私たちを愛して「あなた」「あなた」と呼び掛け語りかけ、わたしは、わたしはと、救いのご計画を明らかにして下さるのでしょうか。尊い御子の犠牲をもって私たちを罪の縄目から解き放ち、罪のゆえに遠く隔たっていた私たちを遠隔の悲惨の地から神の御前へと呼び戻してくださいました。この赦しと救いの恵みに感謝し、この共におられる神様のお力付けを信じて今年も不確かなる日々の上に君臨して私たちのために良きお導きを与え、火の中水の中から救い出してくださいる生ける愛の神様を信じて進みたいと願います。

2 コリント 5:17 だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである。

5:18 しかし、すべてこれらの事は、神から出ている。神はキリストによって、わたしたちをご自分に和解させ、かつ和解の務をわたしたちに授けて下さった。

5:19 すなわち、神はキリストにおいて世をご自分に和解させ、その罪過の責任をこれに負わせることをしないで、わたしたちに和解の福音をゆだねられたのである。

5:20 神がわたしたちをとおして勧めをなさるのであるから、わたしたちはキリストの使者なのである。そこで、キリストに代って願う、神の和解を受けなさい。

5:21 神はわたしたちの罪のために、罪を知らないかたを罪とされた。それは、わたしたちが、彼にあって神の義となるためなのである。

◇祈禱；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。年の初めに大きな悲しみを体験いたしました。どうぞ被災者の方々を救い、癒し、満たし、お慰めください。あなた、あなた、あなたと呼び掛け、私たちを値高く尊く、愛していると語りかけ、贖いをなして神の子とし、守り抜いて、

助け抜いて、愛し抜いて下さいます神様に感謝をおささげいたします。  
私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。主イエス様の御名によ  
って祈ります。アーメン